

3・4基目の

青海埠頭に新しいコンテナクレーン設置!

東京港のコンテナ埠頭は、首都圏4千万人の生活と産業に欠くことのできない重要な役割を果たしています。その最前線で働くコンテナクレーンは、常に安定した稼働が要求されており、老朽化が進むクレーンは計画的な更新が必要です。

当社では、青海埠頭の公共バースに設置しているクレーン（4基）について、平成21年度から更新工事を進めてきましたが、今回、3・4基目となるAC17・18号機の搬入・設置作業を行いました。現在、両機はそれぞれ3月中、4月中の稼働に向けて試験調整を進めています。稼働が始まると、青海埠頭の公共バースは、全6基中5基が新しいクレーンとなり、より信頼性の高い荷役が可能となります。

当社は、今後ともユーザーの皆様の細かなニーズに応えながら、計画的に施設を整備してまいります。ご期待ください。

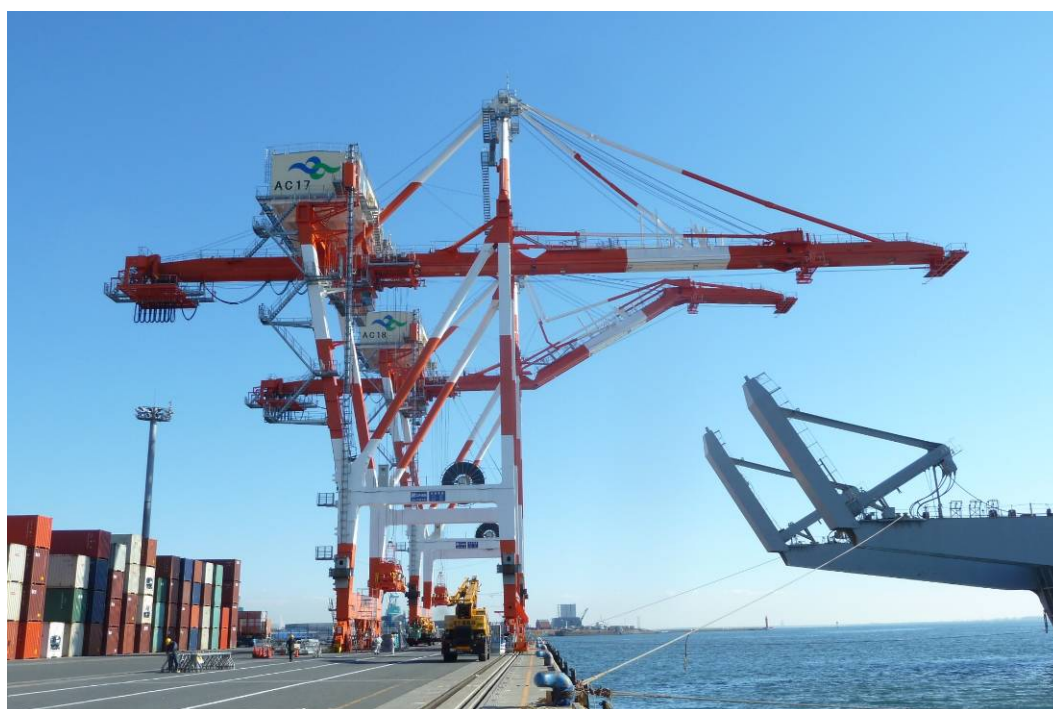


写真 新コンテナクレーン(AC17・18号機)



東京港埠頭株式会社
技術部 設備課 機械係
03-3599-7456